

第6回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	参考 資料 2
平成31年3月4日	
第4回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	参考 資料 1-2
平成30年11月19日	
第4回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	資料 3-2
平成30年11月19日	

# 歯科診療所に勤務する 歯科技工士について

厚生労働省『歯科技工士の養成・確保に関する検討会』参考人

三嶋歯科医院 歯科技工部長 扇 照幾

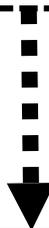
# 歯科補てつ物等を製作するための歯科医師からの主な指示経路

三嶋歯科医院の  
委託歯科技工所

歯科技工指示書

+

営業担当者からの  
申し送り事項



歯科診療所内の  
歯科技工室

歯科技工指示書

+

歯科医師からの  
直接の指示

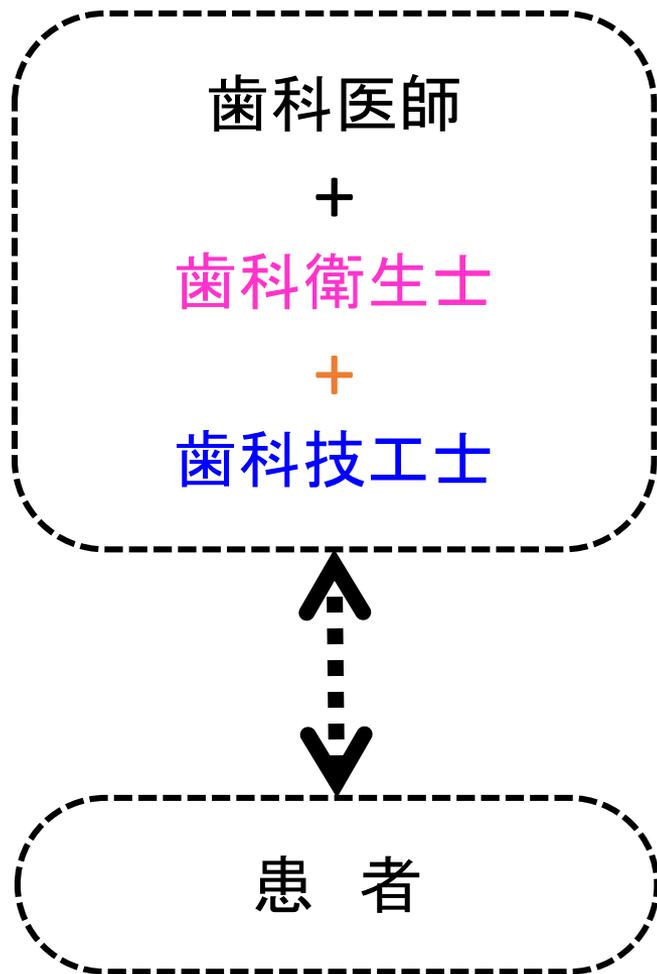
+

患者との  
コミュニケーション



歯科補てつ物等を製作する歯科技工士

# 歯科診療所における歯科専門職のチーム医療



事前に患者からの要望を聞くことにより、最終歯科補てつ物等について情報を共有することができる。

また、色調や形態について、歯科医師の説明と歯科補てつ物等の製作者である歯科技工士が患者とコミュニケーションをとることで、患者の安心に繋がる。

# 歯科診療所における歯科医師と歯科技工士の連携ポイント

## 診断・治療計画

- ① 模型診断
- ② 診断用ワックスアップ
- ③ 口腔内写真・顔貌写真

## 治療開始

- ① 初期治療
- ② 最終補てつ物の決定

最終歯科補てつ物の再評価

## 歯科診療所に歯科技工士が勤務することのメリット

- ①義歯修理やインプラントなどのメンテナンス等について、迅速な対応が可能である。
- ②審美歯科領域の歯科補てつ物等の製作には、細かな情報共有が必要である。(リップサポート、スマイルライン、ワックスアップ、テンポラリークラウン等)
- ③歯肉や歯冠乳頭に関する諸々は、歯科医師からの簡略な指示だけでは、完成度の高い歯科補てつ物等製作は難しい。また、歯科技工士が、歯科補てつ物等がセットされてからの予後を知ることも難しい。
- ④症例によっては、歯科医師と歯科技工士の連携を密にして患者に寄り添った歯科治療をしなければならない。

## 製作者の顔が見える歯科補てつ物

今回の、「歯科補てつ物製作過程等の情報提供推進事業」を行うことによって患者に歯科医療におけるチーム医療をアピールすることができ、患者とコミュニケーションをとることで、歯科医療に対する安心感が芽生える。

加えて、歯科技工士のモチベーションも向上し、より良い結果に結びつく。

### そのためにも

しっかりと治療計画を立て、それを患者に的確に伝えることが求められる。

### その結果

それぞれの立場で、歯科専門職としての高い見識が生まれ、より歯科医学的に優れた口腔内環境が保たれる。また、患者も担当した歯科医師も満足する結果になれば、歯科技工士も誇りを持つことができる。

## 検討会に期待すること

歯科診療所に勤務する歯科技工士としてチアーサイドでの業務の必要性を感じている。また、歯科技工士は歯科補てつ物等を製作する歯科専門職であるという崇高な信念を持つべきであり、医療に携わっていることに誇りを持ち、患者を意識した歯科技工士基礎教育が必要である。そのためには、医療を身近に感じることができる環境での『臨地実習』等を積極的に取り入れるべきであり、2年制の教育時間では限界があることから、3年以上の修業年限が必要である。

この検討会が、国民に安心・安全な歯科医療を提供するために、歯科技工士教育の高度化を図り、資質の高い歯科技工士を育てることについて真摯な議論の場となることを期待する。